

地域包括支援センター
ええげえし

「ええげえし」＝「相返し」秩父地域の方言で「助け合う・支え合う」ことを意味します。

第18号（年4回発行）

H26. 9. 1発行

《編集発行》

皆野町地域包括支援センター

皆野町大字皆野1420-1

電話 62-1233

題字：書道クラブ「若竹」 杉田恵美子 様

「私の療養手帳」を発行しています

秩父郡市のお住まいの方を対象に発行しています。私たちの身近な医療・介護・福祉サービスを一体的に管理できます。各種サービスを利用するとき、医療機関の医師や看護師・薬局の薬剤師・介護サービス提供事業所等のケアマネジャーや介護士などに見せると情報を共有してくれます。さらに、エンディング・ノート機能まで搭載しているので、今までの自分、これからの自分、人生の終着駅に着くまでどうしたいか、どうしてほしいかを大切な人に伝えておくことができます。

当センターで発行しています。

ぜひ、お気軽に手にとってみてください。

お問い合わせ：地域包括支援センターまで



落語を楽しむ ～ふれあい広場にて～

6月～8月の『ふれあい広場』（長生荘）において、落語が催されました。

みなさんから「こんなに近くで落語が聞けるなんて夢のようだ。」「今日をずっと前から楽しみにしていた。」という声がたくさん聞かれ、会場は満員でした。

最近、社会で話題になっている出来事を糸口に、自然と古典落語の話にいざなっていく「さすが」噺家さんのお話
に、時間も忘れて聴き入りました。

「来年もぜひやって欲しい。」「大笑いしたよ。」と大盛況でした。

問合せ：シルバー人材センター 62-4625 まで



シリーズ 地域の絆 二十三夜寺のご詠歌の会（三沢）

金曜日の午前中、静寂なお寺に鈴（れい）と撞木（しゅもく）の音^ねが響き、ご詠歌とご和讃が流れます。取材した日は、雨の滴りも加わりました。参加者のひとは、「心が穏やかになり、優しくなる」と。住職から『常に謙虚であれ』というお言葉をいただきました。人は、他人と比較し、他人の幸福を妬み、他人の上に立ち「してあげている」という気持ちを抱きがちである。常に他人に感謝し、謙虚であることが大切であると。「何か身に詰まる思い」と「何かすっきりした気持ち」の両方を感じることができました。

この会は月2回不定期の金曜日午前中に開催しています。幅広く気軽に参加できます。興味のある方は、お寺までお問い合わせください。電話65-0334



【写真】活動の様子

<地域包括支援センターからのお知らせ>

★地域でいきいき生活している高齢の方の情報をお待ちしています！！★
自薦・他薦を問いません。

★地域活動情報を募集しています！！★

地域の寄合や行事など活動している団体を把握しています。地域社会の繋がりを通じて介護予防に一役買うような活動をぜひおしえてください。

（問合せ） 皆野町地域包括支援センター

TEL 62-1233（内線 115・116） FAX 62-2791

地域包括支援センターはこんな仕事をしています

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが住み慣れたところで安心して自立した生活が続けられるようにお手伝いします。

介護保険サービスの利用方法、介護予防、認知症相談、保健・障害者・高齢者福祉、権利擁護、そのほか生活に関する不安や悩みなどいろいろな相談に応じます。気軽にお電話・ご来庁ください。

高齢者のよろず相談所

皆野町地域包括支援センター（健康福祉課内）

電話 62-1233 内線 115・116

【編集後記】

ホットな数値。80.21 歳。厚労省調査（H25）による日本人男性の「平均寿命」は 80 歳を超えました。ひとりひとりの『大切な命』を平均するのは、恐れ多いことですが……。ごめんなさい（謝）。「平均寿命」とは、『その年の 0 歳の赤ちゃんがあと何年生きられるか』という至って予測不能な数値です。衣食住・医療技術・平和安全といった要素が反映している社会といえます。

しかし、手放して長寿を喜べない現実もあります。それはどうしてでしょう。70.42 歳。これは厚労省調査（H22）による日本人男性の「健康寿命」です。「健康寿命」とは、『自立して健康に生活できる期間』を示す数値です。調査年は多少相違しますが、80.21 歳－70.42 歳＝約 10 歳。喜べない原因はここにあるのです。「健康寿命」を「平均寿命」に近づけようとするみなさんの健康意識が、『健康長寿社会の実現』を生み出します。こびっと目指せ！ぴんぴんコロリ。

介護支援専門員 新井康弘